

## 公民館報 No.253

令和7年1月1日 発行

ANAN  
あなん

発行人●阿南町公民館編集部 編集人●公民館報編集委員会 印刷所●飯田共同印刷株式会社  
連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287  
E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

## Contents

- P1 表紙 遊歩道
- P2 帯川の話（西尾 実 著）
- P3 あなん情報発信局
- P4 あの人この人  
おらほの若い衆
- P5・6  
あなんトピック、  
お知らせ、編集後記

## 藁細工ワークショップ作品



自然界に生かされている私たちは、今一度、当たり前のことが当たり前ではないことを思い返してみるべきだ。大切なことを見落としてしまわないように、先人の知恵を未来へ継承していくように。

自然界に生かされている私たちは、今一度、当たり前のことが当たり前ではないことを思い返してみるべきだ。大切なことを見落としてしまわないが、己年人口は十二支中10番目と希少。

2025年が幕を開けた。昨年元旦、大きな地震に見舞われた能登の復興を心静かに祈る。そんな昨年の世相を表す漢字は30年間で5度目の『金』。オリンピック・パラリンピックの金メダル、佐渡金山の世界遺産登録、裏金、闇バイヤーなど金にまつわる様々な事柄をたとえて。

さて今年はどんな一年になるだろう？60年に一度巡ってくる六十干支のひとつ乙巳年、非常に珍しい組み合わせの今年の象徴は、乙は木を、巳は蛇を意味し、新たな成長や再生発展の年と言われる。目標を掲げ、すぐに達成できずともあきらめず粘り強くやり続けることで結実する！皮肉なことに巳（蛇）年的人は金運がよくお金が貯まるとも言われているが、己年人口は十二支中10番目と希少。

遊  
歩  
道

# 著作 西尾 実 おび かわ 帯川の話 一門松一

から松の若木を切り出してきて、父は山表庭の井戸端に近い高い石垣に立てかけた。大松さまを迎えてきたといって、まず串柿をその枝にもたせて捧げ、饌米せんまいを供えた。そうして一晩経つと、翌日は表庭の下座敷の前あたりに新しい棒杭を二本並べて立て、その中央にこの大松を立て、その表と裏と両側面に松の木を三、四尺ぐらいの長さに切って、縦に割った木片をぐるりと立てまわし、大松さまの根元を守るようにした。そうして、その木片の白く割られた面に、墨筆で太く大きく十二月と各片に書いた。道から表庭に入って大戸へ近づく通路より少し左に立てたこの松飾りの松は、二階からさし出している、ひさしの屋根より高く、上に出ていた。如何にも新年らしい見事な松飾りであったが、間もなく、門松に松の若木を使うことが全国的に禁止され、枝松で松飾りをし

なくてはならなくなつてからは、  
その中央に竹を立て、枝松をその  
根元に添えることになつてしまつた。  
大松さまを景気よく飾つたところ  
は、わたしの郷土では元日に八  
戸の主人が、一軒一軒新年のお祝  
いに、いわゆる御年酒廻りの行事  
であつた。

親戚や早稻田や深見あたりの親戚へ行くのが四日五日と続く。他所の親戚廻りをするのは父である。そのころ、母のところへは、父母が媒酌をして嫁入りさせた、わたしが「姉さん」と呼び慣れている人たちや、早稻田へ嫁入ったばかりの姉などが集まってきた。女の子どもたちは、それぞれの庭先で、時にそこに来合せている姉さんなどをも交えて、羽根つきをする。男のこどもは凍っている坂道へ出て、板を敷いてその上に座って滑ったり、大きいこどもは竹の棒をついて立ったままで滑ったりして、母親に叱られながらかくれるようにして滑る。

て、一応正月の結末が告げられる。このホンヤリというのは、宮中で行われる左義長の儀式が民間に伝わったものだと言わわれている。

そのころのわたしの郷里でホンヤリと呼ばれていた「どんど焼き」の日は、朝から青年たちが集まって各戸の庭先に立てられていた松飾りをすべて集める。夕方帯川の入口の道端に近い酒屋の竹藪につづく河原に、高い松や薪のような松飾りに使った棒杭や十二月と書いた割木を村中から寄せ集めて、高いやぐらを組み、薪などを加えて、火をつける。それが盛に燃え上がったころ、村中の人たちが集り、その火で餅を焼いて食べたり、書初めの紙をその燃え盛る火に投げ入れて、高く舞い上ると、字が上手になるといって喜び、その高いやぐらの火が燃えしずまるまで、その焰に顔をほてらせながら、喜びあう。その日の最後まで止って、全部後始末をするのは、青年たちの夜を徹しての仕事であった。しかしわたしの記憶に止まっているホンヤリは、二度だけであったようと思う。それからあとは正月の松飾りも枝松になり、このホンヤリの豪華版も何時とはなしに行われなくなつたものと思われ

西尾 実の故郷で学ぶ 国語の世界	
信州大学出前講座	日本の国文学者・阿南町名譽町民
場所	化石展示館（かじかの湯）
講師	信州大学教授 西 一夫氏
時間	午後1時～午後3時 予定
定員	30名程度
講師に西 一夫教授をお迎えして開催。多くの皆様のご参加お待ちしております。	名誉町民であり日本の国文学者の西尾 実の故郷で、国語の世界を学ぶ企画。今年度2回目となる、信州大学出前講座で詳細については、1月の組内回覧で周知します。

●講座開催予定 ●

# ANAN情報発信局

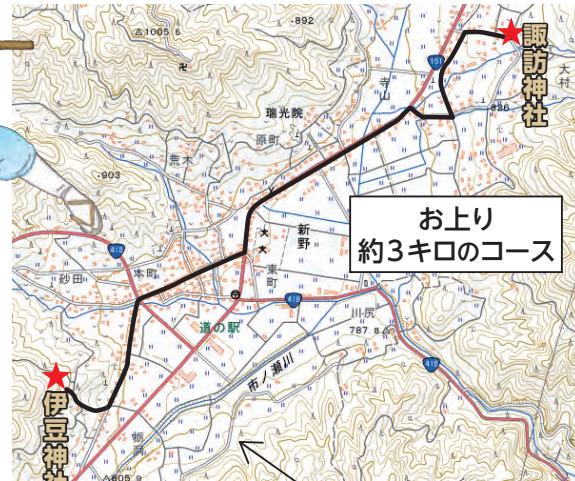
国重要無形民俗文化財に指定されている【新野の雪祭り】。阿南町に住んでいてもどんなお祭りか知らないというお話から、公民館報でご紹介！【雪祭り】は雪を豊年の予兆とみて大切に扱うところからその名がつけられました。じつはこの祭りは1月1日に始まり、10日（現在は12日）～16日にかけて行われています！今回はお祭りの当日の流れをご紹介！

## 1月14日(火)

### お上り

諏訪神社 発 午後4時頃

伊豆神社 着 午後5時30分頃



**神楽殿の儀** 午後7時頃～午後9時頃

本座のびんササラ、新座のびんササラ、

論舞、万歳楽、神おろし（宣命）

順の舞、松明起こし

**本殿の儀** 午後11時頃～午前0時頃

修祓式・伽藍神の祭り

### 祭典

献遷、御幣奉戴式、万歳楽、御参宮、代参り、

中啓の舞、神おろし（宣命）、順の舞



## 1月15日(水)

**庭の儀** 午前0時半頃

**乱声** 午前0時半頃～1時半頃

**幸法** 午前1時半頃～2時半頃

**競馬** 午前3時半頃～4時頃

**翁** 午前4時半頃～5時頃

**正直切** 午前5時半頃～6時頃

**神婆** 午前6時半頃～7時頃

**八幡** 午前7時半頃～8時頃

**鍛冶** 午前8時半頃～9時頃

**大松明点火** 午前1時半頃

**茂登喜** 午前2時半頃～3時半頃

**お牛** 午前4時頃～4時半頃

**松影** 午前5時頃～5時半頃

**海道下り** 午前6時頃～6時半頃

**天狗** 午前7時頃～7時半頃

**志津目** 午前8時頃～8時半頃

**田遊び** 午前9時頃～9時半頃

※時間については、目安の時間となります。当日の進行状況により異なります。

路面等の凍結にお気をつけていただき、暖かく・匂いがついても良い服を着てお越しください。



### 今後の活動について

今年10月から阿南町観光大使に就任された経緯や想い、今後の活動について伺いました。

#### 就任のきっかけは?

東京で歌や演劇の活動を続ける中で、「人を楽しませることが好き」という自身の原点に立ち返る機会がありました。その原点は、地元のお祭りやイベントで人々が楽しむ姿を見て育った経験にあると気づき、地元への感謝と恩返しをしたいという想いが芽生えました。



まだ観光大使として模索中の部分もありますが、一步ずつ地元の魅力を発信し、阿南町に貢献できるよう努めています。

新野出身

栗生 みなさん

大下條 深見

熊谷 真央さん



です。毎日こどもたちと関わる

中で、可愛くて癒される反面、こどもたちから学ぶことも…。成長のお手伝いをしたい!そんな使命感をもって頑張っている

真央先生です。



前回に引き続き阿南町の若きホープのおふたりパートⅡ。熊谷 真央さんを紹介します。

パートⅠの金田 莉歩さんと

同様、地元の短大を出て2年目、現在は新野保育園勤務です。幼い頃から学校の登下校の際「いってらっしゃい」「おかえり」と声を掛けてくれた人たちの印象が強く、そんな温かい人たちの住む阿南町で保育士として働きたいたい。そこが原点だったよう

くれました。



公民館報なんでも掲示板



10位	島津	佐々木	坂巻	坂巻	坂巻	坂巻	伊藤	金田	佐藤	1位
9位	加恵子	たか江	洋二	俊治	美知子	明久	正夫	信保	政子	
8位	島津	佐々木	坂巻	佐藤	坂巻	坂巻	伊藤	金田	佐藤	
7位	加恵子	たか江	洋二	俊治	美知子	明久	正夫	信保	政子	
6位	島津	佐々木	坂巻	佐藤	坂巻	坂巻	伊藤	金田	佐藤	
5位	加恵子	たか江	洋二	俊治	美知子	明久	正夫	信保	政子	
4位	島津	佐々木	坂巻	佐藤	坂巻	坂巻	伊藤	金田	佐藤	
3位	加恵子	たか江	洋二	俊治	美知子	明久	正夫	信保	政子	
2位	島津	佐々木	坂巻	佐藤	坂巻	坂巻	伊藤	金田	佐藤	
1位	加恵子	たか江	洋二	俊治	美知子	明久	正夫	信保	政子	

西北公民館では、公民館役員を中心マレットゴルフ大会を実施。参加者41名で楽しくプレーを行いました。結果は左記のとおり。

令和6年10月27日(日)  
天下条公民館  
西北公民館

あなんナビック

令和6年11月2日(土)

## 感性と創造のフェスティバル



阿南学園



ふちっこ金管バンド



和合小学校



シルバーうたごえサークル



新野小学校



太和楽



まっきいろのはな



グリーンハーモニーあなん

根羽村（3団体）



豊根村 1団体

天龍村 1団体



阿南町  
武道空手少年クラブ阿南・根羽道場  
阿南ハーモニカ同好会  
阿南町ふっとふっとグループ  
阿南高校吹奏楽部  
グリーンハーモニーあなん  
(5団体)

令和6年11月10日(日)

## 愛知・長野県境域住民文化交流会



来年度は、豊根村にて開催予定となります！多くの参加者をお待ちしております。

## あなん



薩摩琵琶奏者 折山 清子さん  
の語りと演奏で「初恋」と平家物語「敦盛」。「源氏物語」読書会の皆さんによる「明石の巻」  
琵琶に関する場面の群読。

薩摩琵琶は盲僧琵琶の流れをくみ、明治以降は全国で盛んになりましたが、戦後は演奏する人も楽器を作る人も少なくなりました。

参加者は20人弱でしたが、こじんまりとした会場で、心に染み入る語りと琵琶の響き、「源氏物語」音読を楽しみました。

## 琵琶と「源氏物語」を楽しむ会

令和6年11月24日(日)

場所 阿南町化石展示館

阿南町出身 漫画家

## かつらふみさん

デビュー作「まんがタイ

ムきらら1月号」に掲載!

「制御不能なカリスマ」というタイトルの漫画となります!今後の活躍にも要

注目!

詳細は、かつらふみさんSNSをご覧ください。



かつら ふみさん  
X(旧Twitter)



■問合せ先 新野だら実行員会  
☎ 090-9667-6425(担当 金田)  
※事前予約必須となります。

1月31日(金) 18時30分開演  
会場 まるはち旅館

新たなキャストによる「新野物語」を通じて、新野の伝統や魅力を改めて感じていただければ幸いです。観覧をご希望の方は、事前にお電話での予約をお願いします。皆さまのご来場を心よりお待ちしています。

2年前に阿南町新野で公演され、大好評だった新野の盆踊りを題材にした演劇作品「新野物語」を、阿南町観光大使の栗生みなを交えて再演します。今回は、新野の「まるはち旅館」にて無料で上演します。

新たに瑞光院を経由してクライミングルート横を通り国道418号に出で道の駅に戻りました。約4.5キロのコースで1時間半くらいかかりました。途中の瑞光院の前で新野千石にお電話での予約をお願いします。皆さまのご来場を心よりお待ちしています。

## 新野物語

おしらせ

新年あけましておめでとうござります。



歩いて健康大会を行われました。私も初めて参加させていただきました。朝9時集合で開会式があり、新野公民館長の号砲でスタートしました。道の駅出発で本町を通り瑞光院を経由してクライミングルート横を通り国道418号に出で道の駅に戻りました。約4.5キロのコースで1時間半くらいかかりました。途中の瑞光院の前で新野千石にお電話での予約をお願いします。皆さまのご来場を心よりお待ちしています。

ウオーキングは、有酸素運動による体脂肪の減少や心肺機能の改善、骨粗しょう症予防やストレス発散、認知症予防など色々に効果もよし、また一人で景色を見ながら歩くもよし、楽しく健康で元気に行きましょう。本年は大下條地区で行われます。大勢参加していただき楽しく歩きましょう。

阿南町公民館長 伊藤 幸一